

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
公共経営入門				杉岡 秀紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	1年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>公共経営の現場では、産学公NPOのセクターの文化的・機能的な壁を越えて、地域の公共的活動や政策形成を主導、また、コーディネートできる人材が求められている。また、このような協働型社会におけるマルチセクターを横断する人材には、公共マインドやビジネスマインド、知識のみならず、技法的な側面もますます重視されてきている。</p> <p>そこで、本講義においては、まず公共とは何か、公共経営とは何か、NPMの基礎について学ぶ。次に公共マーケティングについて、キーとなる概念の学習を毎回行い、ケーススタディを通して現実的な公共課題へ適応し、模擬的に学習していく（2回で1テーマが完結）。</p> <p>なお、講師は、公共政策大学院修了後、行政、民間企業、NPO、大学など多様な職場で働いてきた経験を持つ。そういった意味から机上の空論ではなく、現場から抽出されたエッセンス、実際の社会で使えるスキルというものに照射して、講義を進める。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>以下の知識・スキルを体得することを到達目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる課題群の相互関係を把握し分析することができる。 ・地域における複雑な課題群について、その解決に必要な要素の特定と解決のためのプログラムの提示及び適用ができる。 					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス（講義の概要、成績評価、公共経営について）				
第 2 回	公共とは何か、NPMとは何か				
第 3 回	公共経営とマーケティング思考				
第 4 回	ケーススタディ（公共課題への適用：マーケティング思考）				
第 5 回	公共経営とロジカルシンキング				
第 6 回	ケーススタディ（公共課題への適用：ロジカルシンキング）				
第 7 回	公共経営とクリエイティブ・シンキング				
第 8 回	ケーススタディ（公共課題への適用：クリエイティブ・シンキング）				
第 9 回	公共経営とクリティカル・シンキング				
第 10 回	ケーススタディ（公共課題への適用：クリティカル・シンキング）				
第 11 回	公共経営とロジカル・ライティング				
第 12 回	ケーススタディ（公共課題への適用：ロジカル・ライティング）				
第 13 回	公共経営とプレゼンテーション				
第 14 回	ケーススタディ（公共課題への適用：プレゼンテーション）				
第 15 回	ふりかえり、まとめ				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<ul style="list-style-type: none"> ・予習としては、参考図書を読んでおくことが望ましい。 ・復習としては、毎回配布するレジュメをしっかりと読みなおし、理解を深めること。 ・またペアワークやグループワークのために、日々のニュースや地元新聞を絶えずチェックしておくこと。 					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
出席点 (15%) 授業態度・講義への貢献 (25%) 期末レポート (60%)	秀：講義で習った概念やスキルを体得し、自分の言葉で論理的かつ客観的に説明できる。また、課題点も指摘することができる。また、自学自習や実践につなげている。 優：講義で習った概念やスキルを体得し、自分の言葉で論理的かつ客観的に説明できる。また、課題点も指摘することができる。 良：講義で習った概念やスキルを理解でき、他者に一部説明することができる。 可：講義で習った概念やスキルを最低限理解している。 不可：講義で習った概念やスキルを理解できていない。
テキスト (Textbook)	特になし。講義内に配布するレジュメを中心に行う。 (プレゼンテーションについてはアカデミック・スキルテキスト参照)
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	ユージン・バーダック『政策立案の技法』(東洋経済新報社、2012)、川喜田二郎『発想法－創造性開発のために－』(中公新書、1967)、齋藤嘉則、株式グロービス監修『問題解決プロフェッショナル－思考と技術－』(ダイヤモンド社、1997)、バーバラ・ミント、グロービス・マネジメント・インスティテュート監修、山崎康司訳『考える技術・書く技術－問題解決力を伸ばすピラミッド原則－』(ダイヤモンド社、1999)、トニー・ブザン/バリー・ブザン 著、神田昌典訳『ザ・マインドマップ－脳のパワーを強化する思考技術－』(ダイヤモンド社、2005)、細谷功『地頭力を鍛える－問題解決に活かす「フェルミ推定」－』(東洋経済新報社、2007)
備考 (Other Information)	・本講義は、毎回グループワークやケース・メソッドを実施し、学びの双方向性を重視する(アクティブ・ラーニング)。座学スタイルではないため留意すること。 ・3分の1以上(6回以上)の欠席は、単位不可とする。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	Eメール(sugioka-hidenori@fukuchiyama.ac.jp)に連絡すること。